保健事業推進員の活動を紹介します

問健康推進課　☎22-1362

保健事業推進員とは

健康づくりに関する正しい知識の発信や地域住民と行政の橋渡しを担い、皆さんが健康に暮らすことができるよう、地域で活動しています。

各地域の自治会長から推薦され、市長から委嘱（2年任期）を受けています。現在、市内では約200人の保健事業推進員が活動しています。

こんな活動をしています

❶『寄り合いワークショップ』に参加

各地区ごとに『寄り合いワークショップ』を開催しています。健康に関する正しい知識のほか、市の健康に関する現状について学びを深めています。

自分の暮らす地域に健康づくりを広める方法や、市の健康課題を解決するためにできることは何かを考え、話し合っています。

❷ 健康出前講座の企画

地区の集まりや自治会総会に市保健師や管理栄養士、歯科衛生士を呼び、健康に関する講話や血管年齢などの測定会を行っています。

❸ イベントでの展示

地区のイベントで、健康的な食生活に関する展示などを行っています。

健康出前講座の企画やイベントでの展示を通して、子どもから高齢者まで幅広い年代の地域住民に健康に関する正しい知識の普及、自分自身の生活や健康について振り返るきっかけ作りをしています。

市長との地区懇談会を開催しました

昨年、11月14日～26日にかけて、各地区公民館などで市長との地区懇談会を開催しました。これは、市の重点施策を直接説明することで市民の皆さんと情報共有を図り、また、それぞれの地区が抱える課題などを伺い、より良い市政運営につなげることを目的に毎年開催しているものです。今月号では、各地区の懇談会でいただいた主なご意見および回答についてお知らせします。

問総務課　☎22-1331

より良い市政運営のために

地区懇談会では、山田市長から市の重点事業である「（仮称）道の駅しろいし整備事業」、「大学院大学設置構想」、「公立刈田綜合病院」、「教育改革3.0」について、概要を説明した後、参加者とさまざまな意見交換を行いました。

参加者からは地区の課題や市への要望など、多くのご意見をいただきました。

今後も市民の皆さんと情報共有を図り、いただいたご意見を市政に反映させるため、定期的に意見交換を開催してまいります。

主なご意見および回答

Q　クマ対策の現状を教えてほしい

A　被害防除対策として、電気柵の設置補助や廃棄野菜・生ごみの適正管理方法、目撃情報の周知、有害個体の捕獲、生息環境管理として、放任果樹の除去・山林に接する耕作地での山林側除草の周知などを行っているところです。

クマは保護動物なので、捕獲にあたっては、認可手続きが必要ですが、今後も、国や県と連携し、人の生活圏からクマを排除するため、個体数の削減・管理の徹底を図るとともに、被害防除対策を講じてまいります。

Q　市内でお産のできる場所が必要ではないか

A　全国的に産婦人科の医師は訴訟リスクが高いため、圧倒的に医師数が少ないという現状があります。また、東北大学は、お産のできる病院を限定し、少ない産婦人科医を集中させることで安心してお産のできる体制をつくりたいという方針です。難しい状況ですが、あきらめていません。段階を踏んで、本市でお産のできる環境をつくっていきたいと考えています。

Q　人口増加の取り組みについて

A　人口減少社会において、人口増加には市内に働く場所を確保するなど、定住していただくための施策が必要だと考えています。（仮称）白石スマートインターチェンジ周辺整備において、仙台南部工業団地への企業誘致に積極的に取り組んでまいります。

Q　ふるさと納税の返礼品を増やすことはできないか

A　本市では、令和６年度に過去最高の8億8,000万円という寄付額となりました。これは地元企業の皆さまのご協力のおかげです。新たな返礼品の開発も重要だと考えていますので、皆さんからも情報提供をお願いします。

Q　（仮称）道の駅しろいし整備事業周辺の交通状況について

A　道の駅しろいしが完成した際に白石方面からは、道の駅に左折して直接入れるレーンを設置し、斎川方面からは右折レーンを設置する予定です。また、現在国道４号の４車線化を国土交通省に要望しているところで、円滑な道路交通の実現に向け努めてまいります。